

【図工科】

各学年共通

- ◎読み解く力〈6つの領域〉を土台として自己調整学習の推進を図る。
- ◎教科書分析を行い、言葉にこだわり、「読むこと・書くこと・話すこと」の時間を重視する。
- ◎必然性のある内容を工夫し、家庭学習との連携を図る。

1年

■児童の状況	○楽しみながら主体的に取り組んでいる。 ○授業でのルール、めあて、道具の使い方などを理解し意欲的に取り組んでいる。 ●学習過程・表現の自由度を理解できていない児童がいる。 ●グループ制作などで協力できない児童がいる。
■指導についての課題	・ 今後は、自分が何をするのかを一人一人にしっかりと理解させ、その中でのびのびと楽しく制作に当たらせる。
■授業改善に向けての具体的な方策	・ 学習過程・表現の自由度をしっかりと一人一人がわかりやすい指導を行う。 ・ グループ制作などで協力が必要な場面での協力のさせ方を工夫する。

2年

■児童の状況	○創作活動を楽しみながら主体的に取り組んでいる。 ○領域や分野に関わらず、進んでつくることができる。 ○絵の具の使い方が少しずつ身に付いてきた。 ●学習過程・表現の自由度を理解できていない児童がいる。
■指導についての課題	・ 感性を育むためには、基礎基本の時間を今以上に十分とって表現の幅を増やす必要がある。
■授業改善に向けての具体的な方策	・ 工作では紙を使いこなせるように多種のテーマを設定し、楽しみながら工作ができる指導をする。 ・ 題材の始めに、イメージをもたせる活動を大切にし、学習の見通しをもたせることで、自分の思いを表現できるようにする。 ・ 時間内に片付けまで終わるように工夫していく。

3年

■児童の状況	○創作活動を楽しみながら主体的に取り組んでいる。 ●どのように進めていくか迷ってしまい始められない児童や、さらによりよいものを目指して試行錯誤していく力に乏しい児童がおり、進度の差が大きい。
■指導についての課題	・ 3年生になり、道具・材料の扱い方を学ぶことが増えているため、丁寧に押さえる指導をしていく。 ・ 描きたいもの、作りたいものを表現することができるが、発想や表現方法に広がりをもたせたい。
■授業改善に向けての具体的な方策	・ 作品に対して工夫して取り組めるよう構想を練る時間を大切にする。 ・ 授業の中で、道具・材料の扱い方を繰り返し全体で押さえるとともに、表現方法に行き詰まった場合には、個別に要点を絞り支援する。

4 年	
■児童の状況	○創作活動を楽しみながら主体的に取り組む児童が多い。 ●領域や分野が変わると、苦手意識を示したり、表現が広がりにくくなったりするなど、取り組みの様子に差が出る児童がいる。
■指導についての課題	・描きたいもの、作りたいものを表現することができるが、発想や表現方法に広がりをもたせたい。 ・活動に集中できる環境を整える必要がある。
■授業改善に向けての具体的な方策	・作品づくりに夢中になれるような題材や材料などを工夫する。 ・作品に対して工夫して取り組めるよう構想を練る時間を大切にする。

5 年	
■児童の状況	○素材感や題材を楽しみながら主体的に取り組んでいる。 ●自らの作品に満足感を抱くことはできるが、試行錯誤し、よりよいものを目指して学びを進めていく力に乏しい児童がいる。
■指導についての課題	・学習の見通しをもちながら活動できるようにする。
■授業改善に向けての具体的な方策	・作品づくりに夢中になれるような題材や材料などを工夫する。 ・作品に対して工夫して取り組めるよう構想を練る時間を大切にする。

6 年	
■児童の状況	○自分の経験を生かした表現をすることができる。 ○創作活動を楽しみながら主体的に取り組んでいる。 ●見通しを持ちきれず、時間が足りなくなる児童が多い。
■指導についての課題	・既習事項を基礎とし応用させた表現が難しい児童がいる。 ・学習の見通しをもちながら活動できるようにする。
■授業改善に向けての具体的な方策	・作品づくりに夢中になれるような題材や材料などを工夫する。 ・6年生になり、今までに学んできた道具・材料の扱い方を活用して活動することが増えているため、使い方の確認をしながら指導をしていく。 ・構想を練る時間を大切にし、題材の始めに完成までの見通しをたてる。